

「青森県住まい・住環境学習指針」シンポジウム

～生きる力を学びリビングリテラシーを身につけるには～

日時：平成31年2月14日（木）

14時から16時30分まで

場所：ねぶたの家ワ・ラッセ 2階イベントホール

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 事業概要説明

「リビングリテラシー向上プログラム推進事業」の概要
青森県県土整備部建築住宅課住宅企画グループ

4 基調講演

「住まいと住環境の“学び”について」

弘前大学大学院 地域社会研究科長 北原 啓司 氏

5 パネルディスカッション

「生きる力を伸ばすための学習・取組みを考える」

コーディネーター 弘前大学大学院 地域社会研究科長 北原 啓司 氏

パネラー 北海道立総合研究機構建築研究本部 部長 松村 博文 氏

青森県立青森西高等学校 教諭 木村 紀子 氏

6 質疑応答

7 閉会

※リビングリテラシーとは？

住宅や住まい方に関する基礎的な知識や判断力を意味します。



シンポジウム講師プロフィール等

○基調講演講師・パネルディスカッションコーディネーター

弘前大学大学院 地域社会研究科長 北原 啓司 氏

東北大学大学院工学研究科博士課程修了。東北大学建築学科助手を経て、2003年より教育学部教授。学会や各自治体の都市計画や住宅政策、景観に関わる委員のほか、東日本大震災以来、国土交通省はじめ被災地の震災復興に関わる様々な委員を務める。日本都市計画学会理事・東北支部長。著書に「まち育てのススメ」（弘前大学出版会）、『空間』を『場所』に変えるまち育て」（萌文社）等がある。2016年住総研第5回清水康雄賞を受賞。

○パネルディスカッションパネラー

北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所 部長 松村 博文 氏

北海道大学工学院博士後期課程修了。全都道府県で唯一の道立の建築・まちづくりの研究所に勤務。平成13年度に北国ならではの住教育プログラムとして、「ただいま」（住まいとまちの体験学習プログラム集）を発行。以後、住教育の支援・普及のため、道内各学校を対象とした出張講座をはじめ、家庭科教員向けのテキストの発行、建築士会と連携した取組を展開。

「地方の住教育で必要なこと～北海道での取り組みと課題～」をテーマに発表いただくとともに、先進事例の推進者及び研究機関の視点から住教育に関する提言をいただきます。

○パネルディスカッションパネラー

青森県立青森西高等学校 教諭 木村 紀子 氏

宮城教育大学大学院教育学研究科修士課程修了、仙台市内短期大学助手を経て、平成10年度より青森県高等学校教諭。平成20年度から昨年度まで県総合学校教育センターにて、指導主事として小中学校・高等学校の教員向け研修等を担当。青森県住まい・住環境学習指針の検討委員のほか、住教育副読本を作成するためのワーキンググループの座長を務める。今年度は、自身の授業で住生活に関する出前授業を实践。

これまでの取組を発表いただくとともに、現役の教員としての視点から今後望まれる住教育等について提言いただきます。